

会派視察報告書

令和 6 年、10 月 15 日

長浜市議会議員 様

長浜市議会議員 押谷 正春

印

私が出席した次の行政視察の結果について報告します。

記

1. 視察等名 令和6年度会派（新しい風）による行政視察研修
2. 視察期間 令和6年10月7日（月）～10月9日（水）
3. 視察場所及び目的
 - ① 兵庫県丹波市
丹波医療センターについて
 - ② 島根県出雲市
新エネルギー施策について
 - ③ 島根県出雲市
歴史博物館について
 - ④ 島根県松江市
中心市街地活性化について

・視察の目的

丹波医療センターについて

・視察の内容

① 県立柏原病院と柏原赤十字病院の新病院への統合・再編等について

○新病院への統合・再編に至った背景について

人口減少での赤字の増加に加え医師不足から2病院の統合を進めて課題解決に努める

○2病院の新病院県建設に要した経費負担の状況について

国の補助金を活用して県立病院建設に着手する

○2病院統合・再編までの会計処理等の清算調整について

県立柏原病院は会計を新病院に引き継ぎ、赤十字病院は赤十字病院の中で清算をする

○2病院が統合・再編まで保有していた医療機器等の取扱いの対応について

県立柏原病院の医療機器については新病院に引き継ぎ、新設の医療化については新しい医療機器の購入をする。赤十字病院の機器においては寄付という形で新病院に引き継がれている

○2病院統合・再編に伴う派遣医師等の受け入れ調整について

神戸大学から医師の派遣がなされ、多くの研修医を受け入れて対応されている
へき地医療にしていされ地域医療確保に努めている

○2病院統合・再編に伴う病院医療従事者の受け入れ対応について

医療従事者においては在宅医療や保険福祉医療等にまわってもらって対応している

・行政視察の結果を本市にどのように反映させるか

現在進めている長浜市の病院統合計画の中での長浜赤十字病院の指定管理者制度

で現在のまま医師・医療従事者が移動する対応で行っていくので、まず医師の確保を考え早急に指定管理者制度の推進を計らなければならない。

② 新エネルギー施策について

○「ゼロカーボン推進室」の新設

△「出雲市環境総合計画」に沿った施策の展開

△再生可能エネルギーの導入促進

・個人住宅への再生可能エネルギー設備等導入補助

・民間事業所への太陽光発電設備等の設備導入補助

・公共施設への太陽光発電設備等の設備導入

△省エネルギー対策

△「神話の國出雲さんさん倶楽部」の取組

△いずも縁結び電力株式会社（地域新電力）の取組

△普及、啓発発動「市民、事業者の行動変容につながる取組」など

○令和5年度より出雲エネルギーセンター稼働により、新電力会社に市職員一名を取締役に加えて、市と民間とで運営していく。

・行政視察の結果を本市にどのように反映させるか

ルギーで電力を起こし、新電力会社の設立に向けて進めている。

新電力会社に対して、一定の出資金を出して、官・民で運営を計る

③ 歴史博物館について

○中央ロビー

△宇豆柱と心御柱

平成12年に出雲大社境内遺跡より出土した宇豆柱（重要文化財）と心御柱（複製品）を出土状況を再現しながら展示しています。

○テーマ別展示室

△出雲大社と神々の国の祭り

巨大神殿出雲大社の謎を中心として、神在月の伝承など古代から連綿と続く出雲大社の歴史を様々な角度から紹介します。

△青銅器と金色の大刀

見る者を圧倒する国宝の青銅器群や卑弥呼の鏡とも言われる三角縁神獣鏡、そして古代時代の豪華な装飾大刀。これらの歴史的な発見の数々を通して、いにしへの島根の謎と実像に迫ります。

○総合展示室

△島根の人々の生活と交流

島根の歴史と文化を特徴づける「四隅突出型墳丘墓」「出雲の玉作」「世界遺産 石見银山」「たたら製鉄」を中心に、古代から現代に至る島根の人々の生活と交流の歴史を紹介します。実際に触れたり、体験できるコーナーもあります。

・行政視察の結果を本市にどのように反映させるか

本市においては、長浜市文化基本構想の中で、長浜城博物館・小谷戦国ミュージアム・観音の里ミュージアムの三つの博物館・ミュージアムに資料・史跡をそれぞれの博物館に展示する。その中で、シアターなどを使いそれぞれの歴史の紹介などをし、本市の歴史を魅力的に紹介をしていき集客につなげていく。

④ 松江市中心市街地活性化について

○既存ストックの活用などによる活気の創出

△旧日銀松江匠工房

水の都・松江の「豊かな日常」を体験する場所へ

・本館一回「マルシェ」

・工房棟「フードホール」

・松江産品を中心とした「上質な日常」を楽しめる新型マーケット

・本館2・3階「ものづくり体験」 外国人にも対応できる観光体験フロアー

△松江市中心市街地の賑わいの再生

・職人商店街構想

職人商店街とは

優れた職人の技を「観て、体験できる」店舗

・職人商店街支援事業

・チャレンジショップ支援事業

新規店舗・開業支援（補助金上限150万円）

△水辺空間の活用などによるまちなかの賑わいづくり

・水辺を愉しむエトセトラ（白潟公園賑わい創出社会実験）

宍道湖畔、大橋川に面する白方公園ににぎわい空間創出

・松江水郷祭 西日本有数湖上花火大会 花火2.1万発（2日間合計）

68万人の人出

△親水浅場の整備（松江湖畔公園）

・千鳥南公園再整備

・白潟公園賑わい創出社会実験

△水辺の賑わい拠点の整備（大橋川改修）

○歴史・文化資源を活かした観光振興・交流拡大

・古民家等の高付価値化

空き店舗を一棟貸しの宿泊客室、旧料亭を職人商店街型の工房にリノベ

空き家を一棟貸しの宿にリノベ

お茶文化を体験できる文化体験宿、茶房にリノベ

商家2階を宿泊特化の高級ゲストハウスにリノベ

△夜の賑わい

・城下町松江らしい光の創出

・夜の賑わいを創出「松江水燈路」

・特産品の開発・ブランド化

「松江松平そば」のブランド化

① 松平家の家紋を付したそば碗使用

② そばは挽きぐるみまたは地元産

③ お盆に載せたセット商品で提供

④ 高級感・特別感のあるメニュー

・テイクアウトメニューの創出

ありそうでなかった「しじみ汁」「しじみクラムチャウダー」

テイクアウト商品の開発

・行政視察の結果を本市にどのように反映させるか

本市においても商店街の活性化に向けた新しい取り組みの推進を計ることが重要である

水辺の活用を考え、何か集客を図る事業展開ができないか考えていくことが必要である

花火については資金集めを工夫しながら魅力的なものに変えていく必要がある